

## 「中国・アジア」ダイジェスト

2014.09.01-09.12

※記事は東京発行・最終版

## CHINA

9月1日(月)

NEC、プロジェクター内製化  
深圳・EMS 子会社タイ工場

NECは、中国深圳の電子機器製造受託サービス(EMS)業者に生産委託していたプロジェクターを内製化する。生産子会社のタイ工場に生産を移管。低価格機を手始めに順次。(12面)

日本の対中投資 - 減速

中国経済と日本企業2014年白書

2013年の日本の対中投資は、前半は増加を維持したものの、後半は減少に転じ、前年比4.3%減の71億ドルになった。中国日本商会が『中国経済と日本企業2014年白書』をまとめた。(26面)

9月2日(火)

加茂精工、新興国向け廉価仕様

ラック&amp;ピニオン/中国など

加茂精工は、高精度に位置決めできるラック&ピニオンで価格を3割程度低減した新興国向けの廉価仕様を発売した。中国などの新興国で現地商社を通じて、廉価仕様で販売。(7面)

中井工業、鋳物部品を仲介

日系車・農機・建築

中井工業は、中国で鋳物部品を調達し、現地の日系企業に供給する。設計から試作まで担当し、現地の協力会社に生産を委託。品質・納期を保証する。自動車や農業機械、建築向け。(7面)

複合機、新興国攻略を加速

富士ゼロックス/中国を開拓

複合機各社が、新興国攻略を加速している。富士ゼロックスは中国でボリュームゾーンとなる中小規模の事業者の開拓を推進する。リコーは年度内に新興国に特化した製品を、数機種投入。(9面)

## ASIA

9月1日(月)

日本電産、インド1000億円投資

印モディ首相と京都で会談

日本電産は、2020年までにインドで工場建設に1000億円以上投資する計画。モーターの有力供給地として期待、5カ所の工場建設は表明済み。永守社長が印モディ首相と京都で会談。(2面)

ASTAP議長に前田氏

日本人で初

アジア・太平洋電気通信標準化機関(ASTAP)は、次期議長に情報通信技術委員会(TTC)の前田洋一専務理事を選出した。任期は2年間。日本人のASTAP議長就任は初めて。(12面)

サムコ、東南アに本格進出

半導体製造装置/研究が活発化

サムコは、東南アジアに本格進出。シンガポールがマレーシアに営業部門の中核拠点を設立。大学の半導体研究が活発化、EMSの進出が相次ぐ。半導体製造装置の需要拡大が見込める。(13面)

9月2日(火)

インド投融资3兆5000億円

日印首脳会談/東京宣言

安倍晋三首相と来日中のインドのモディ首相は、「日印特別戦略的グローバル・パートナーシップに関する東京宣言」を発表。5年間で日本の対印投融资を約3兆5000億円とする目標。(3面)

エネ・インフラ・製造業で深化

経産相、インド首相と会談

茂木敏充経済産業相は、モディ首相と会談。エネルギーやインフラ、製造業分野での協力深化を要請した。経産相は「日印特別戦略的グローバル・パートナーシップに関する東京宣言骨子」を公表した。(3面)

「日印投資促進パートナーシップ」立ち上げ  
・対インド直接投資および日本企業を今後5年間で倍増  
・今後5年間で官民合わせて約3兆5000億円の対インド投融资  
・「電子産業工業団地」日本工業団地の設置  
・ビジネス環境改善

円借款  
・インフラ金融公社(約500億円)、下水道整備(約150億円)

東南アジアとの地域連結性、インド北東部州開発促進  
高速鉄道、地下鉄などインフラ整備、デリー・ムンバイ間産業大動脈構想(DMIC)など

エネルギー協力強化、レアアース  
REC E P交渉妥結に向けた協力強化

科学技術・人的交流  
科学技術分野での協力強化  
日インド留学生数の大幅増、スポーツ交流促進

女性  
防衛協力  
教難飛行艇US-2に関する合同作業部会での議論の進展を歓迎、その加速を指示

DT Sはベトナム現地法人から研修生を受け入れる。開発標準や日本の商習慣を学ぶ。帰国後に現地の従業員を教育する(4日付)



「ATS L」など現地生産車種に搭載する。中国・搜狐網が伝えた。(5面)

9月3日(水)

巨大化する中国スマホ

部品メーカーに変化

ファーウェイ、レノボ、シャオミ。中国地場メーカーのスマートフォンの世界シェア拡大が電子部品メーカーの事業が変化。アップル、サムスン電子に続く第3勢力から主役級になる可能性。(8面)

9月4日(木)

日米中、電子商取引拡大

2020年6兆7000億円

経済産業省は、日本、米国、中国3カ国間のB2Cの電子商取引が、2020年には最大で6兆7000億円に拡大との試算。2013年は約1兆7200億円と推計しており、ほぼ4倍に増える。(2面)

GM、中国で最新鋭変速機

キャデラック搭載

米GMは、中国で燃料効率の高い9速自動変速機を生産する計画。まずは、高級車ブランド・キャデラックのセダン

漢方・生薬を国産化

生薬、中国から輸入8割

漢方の原料となる生薬の国産化に取り組む動きが活発化。生薬は8割が中国からの輸入。国産化で農地の有効活用や新産業創出につながり、地域活性化の妙薬になる可能性。(深層断面=26面)

9月5日(金)

ジェトロ、成都に事務所

中国内陸部/日系消費財企業支援

日本貿易振興機構は、中国内陸部の四川省成都に事務所を年内に開設する。中国事務所は7カ所目。消費財を扱う企業が依然として中国を巨大市場と捉えており、新事務所を開設して対応。(3面)

ハネウェル、武漢工場が稼働

ターボチャージャー

米ハネウェル・インターナショナルは、湖北省武漢市に建設した自動車エンジン用ターボチャージャー工場が操業を始めた。これにより、同社の過給器の中国生産能力は3倍に増強。(7面)

OSG、切削工具の新ブランド

中国・欧州に専門販売組織

OSGは、世界戦略製品と位置づけた切削工具の新ブランド「Aブランド」を10月に立ち上げる。専門販売組織「プレミアムディーラー制度」も中国や欧州でスタートした。(11面)

9月8日(月)

クボタ、中国に小型ショベル

戦略モデル/現地生産

クボタは、中国の建設機械分野で攻勢をかける。戦略モデルとして、部品の現地調達拡充と完成品の現地生産によりコストを抑えた5トンの小型ショベルをこのほど投入した。(9面)

大阪・上海・インドに拠点

米ニムブルストレージ

米ニムブルストレージは、アジア・太

高級の高張力鋼板を生産。(11面)

9月4日(木)

タイから中近東に輸出

いすゞ/小型トラック

いすゞ自動車は、タイで生産した小型トラックを中近東に輸出する。中近東では公共投資などを背景にトラック需要が旺盛。いすゞは現在、中近東向け小型トラックの全量を日本で生産。(1面)

ベトナム現法から研修生

DT S/開発標準学ぶ

DT Sは、ベトナム現地法人から研修生の受け入れを始めた。国内の本番プロジェクトに参加しながら、同社の開発標準や日本の商習慣を学ぶ。日本語検定をもつ現地の上級職が中心。(9面)

旭硝子、インドネシア増強

フロートガラス/年63万ト

旭硝子は、インドネシアにある連結子会社サヒマス板硝子(AMG)に約160億円を投じ、フロートガラスの生産体制を強化する。年産能力は約1割増の63万ト。(13面)

9月5日(金)

クレーンをハイブリッド化

三井造船/タイ

三井造船は、タイのレムチャパン港のコンテナターミナルに設置されている「トランステナ」と呼ばれるクレーン5基を対象に、工事期間2カ月でハイブリッド化改造工事を施した。(6面)

台湾で工作機械の主軸修理

西研/日系向け

西研は10月にも、工作機械の主軸修理事業で台湾に進出する。子会社を現地に設立し、日系機械メーカーの工場を対象にサービスを開始。いずれは主力の切削工具再研磨も現地で。(7面)

9月8日(月)

タイ新工場、建設を再開

協和工業/洪水後のラッシュで延期

協和工業は、建設を延期していたタイのユニバーサルジョイント新工場を2015年2月に稼働する。「大洪水」後の工場建設ラッシュを避けて延期。工事の着きや受注増加で計画を再開。(7面)

マレーシアで重質油分解装置

千代田化工が受注

千代田化工建設は、マレーシアの国営石油会社ペトロナスから、同国南部の石油・石油化学コンビナート計画向けに重質油分解装置を受注した。受注金額は約1300億円。(8面)

ミャンマーに日本型通関

輸出入・港湾関連情報処理センター

輸出入・港湾関連情報処理センターは、ミャンマーへの通関システム導入プロジェクトで、現地当局とコンサルタント業務契約を締結した。日本型通関システムを現地に導入する。(11面)

インドネシアに車用ガラス工場

セントラル硝子/仏社と合併

セントラル硝子は、フランスのサンゴバン社と自動車用ガラスを製造・販売する合併会社をインドネシアに設立する。

平洋地域でストレージ(外部記憶装置)事業を拡大する。大阪と上海、インドのベンガルールにオフィスを半年以内に開設する。(10面)

9月9日(火)

太平洋セメント、中国合併新設断念

生産抑制を強化

太平洋セメントは、中国子会社を通じて現地の化学メーカー「新疆天業(集団)」と進めていたセメントの合併事業を解消する。政府が生産過剰業種と指定したセメント業界。生産抑制を強化。(3面)

豊島、上海に物流新会社

ベトナム繊維工場を増強

豊島は、中国・上海市に物流新会社を設立し、繊維製品の主要生産国である中国での物流効率化を推進。ベトナムの繊維製品工場では、10月をまでに、現在の6ラインから8ラインに増強。(16面)

9月10日(水)

ジェトロ、成都に事務所

中国内陸部/日系消費財企業支援

日本貿易振興機構は、中国内陸部の四川省成都に事務所を年内に開設する。中国事務所は7カ所目。消費財を扱う企業が依然として中国を巨大市場と捉えており、新事務所を開設して対応。(3面)

ハネウェル、武漢工場が稼働

ターボチャージャー

米ハネウェル・インターナショナルは、湖北省武漢市に建設した自動車エンジン用ターボチャージャー工場が操業を始めた。これにより、同社の過給器の中国生産能力は3倍に増強。(7面)

OSG、切削工具の新ブランド

中国・欧州に専門販売組織

OSGは、世界戦略製品と位置づけた切削工具の新ブランド「Aブランド」を10月に立ち上げる。専門販売組織「プレミアムディーラー制度」も中国や欧州でスタートした。(11面)

年間50万台分の能力を持つ工場をジャカルタ東部に建設する。(12面)

9月9日(火)

三井造船、技能実習生300人

インドネシアから

三井造船は、インドネシア・スラバヤのバル造船所から日本に最大300人程度の技能実習生を受け入れる。操業度向上が見込まれる半面、国内では人手不足が顕在化。(1面)

東洋電機製造、バンコク事務所

インフラ投資活発化

東洋電機製造は、タイのバンコクに駐在員事務所を開設した。市場調査や情報収集、営業支援。東南アジアは高い経済成長が期待され、インフラ関連をはじめ投資の活発化が見込まれる。(7面)

台湾製のCNC旋盤投入

コトブキ/4割安く

コトブキは、台湾の正代機械(TMT)製の低価格CNC旋盤「TTB-20A」を発売する。日本の顧客ニーズを反映した。国産機に比べて最大4割程度安いとしている。(8面)

大阪製鉄、インドネシア生産

形鋼・鉄筋用棒鋼/年産50万ト

大阪製鉄は、インドネシア国営鉄鋼メーカー・クラタスチールと中小型形鋼・鉄筋用棒鋼などの現地生産を2016年に始める。約200億円投資、圧延設備1ライン。年産能力約50万ト。(15面)

アルミベースト、インド生産

東洋アルミ/現地企業と事業化

東洋アルミニウムは、インドで現地企業のMMPインダストリーズとアルミニウムベースト事業の共同事業化を検討する基本合意書を締結した。アルミベーストではインドで第2位。(15面)

9月10日(水)

古河A S、東南ア統括会社

タイ・バンコク/車部品の設計・調達

古河A Sは、タイのバンコク市に100%出資の東南アジア統括会社「フルカワ・オートモーティブ・システムズAP」を設立、業務を開始した。自動車部品の設計・営業・調達機能を統括。(7面)

歯科矯正、東南ア開拓

ASO/フィリピン現法

ASOインターナショナルは、フィリピン・マニラの現地法人で、歯科矯正装置の製造・販売する。東南アジアで歯科矯正ニーズを掘り起こす。営業担当5人、歯科技工士10人で始動。(29面)

愛知県、東南ア交流加速

直行便誘致/経済連携協定

愛知県が、ASEANやインドとの経済交流を加速。大村秀章知事が歴訪。ガルーダ・インドネシア航空に中部国際空港直行便就航を働きかけ、タイ工業省と経済連携に関する覚書。(31面)

9月11日(木)

鋳造部品の含浸処理工場が稼働

スタイ/タイ

スタイは、タイ・ラヨーン県に自動車用鋳造部品などの含浸処理を行う新工場



iPhone 6 ⑥とPlus

9月11日(木)

「iPhone 6」部品も熱視線

中国・富裕層の動向カギ

「iPhone 6」に、日系電子部品メーカーも熱い視線。カギは世界最大市場・中国の富裕層。中国スマホより価格が高いiPhoneを手にするのか。部品各社は固唾をのむ。(深層断面=24面)

シャープ、空気清浄機100万台

PM2.5濃度表示機種など

シャープは、中国の空気清浄機販売を2016年にも、3倍強の100万台に高める。今秋、PM2.5の濃度を示すセンサー搭載で現地デザイナーが開発した新製品などを投入する。(8面)

9月12日(金)

中国の独禁法の執行で懸念表明

米連邦取引委

米連邦取引委員会のラムレス委員長は、中国当局による独占禁止法の執行について懸念を表明。携帯電話向け半導体大手の米クアルコムに、市場での地位を乱用で調査している。(時事=3面)

VWとクライスラーに罰金

中国・独禁当局

中国の独禁当局は、独占的に価格決定をしたとして、独VWと伊フィアット傘下の米クライスラーの中国合併会社にそれぞれ2億4900万元と3200万元の罰金を科した。(時事=3面)

を稼働した。鋳造品の製造過程で発生する錆染を含浸液で埋めて修復する。現地ニーズに対応する。(5面)

3Dプリンター、タイ投入

アルテック/ストラタシスと契約

アルテックは、タイで米ストラタシス製工業用3Dプリンターの販売する。現地法人がストラタシスと販売代理店契約を締結。日系自動車部品メーカーの試作品製造機需要などを開拓する。(6面)

原子力出張講義を延長

日立GE/マレーシア

日立GEニュークリア・エナジーは、東京工業大学とマレーシアで開講している原子力分野の出張講義を2015年まで延長する。同国は2020年代に原子力発電の導入を計画。(8面)

9月12日(金)

アクティオ、ミャンマーに進出

建機レンタル・販売

アクティオは、建設機械のレンタル・販売でミャンマーに進出する。2015年に整備工場を建設。日本製の中古機を中心に現地ゼネコン向けに貸し出すほか、メンテナンスを行う。(1面)

自動車部品工業、タイ増産

20万本増/日系新規向け

自動車部品工業は、タイの生産子会社にプロベラシャフトとディーゼルエンジン部品の生産設備を導入する。増強するプロベラシャフトの生産能力は年約20万本。日系の新規受注に対応。(5面)

富士通、インドに技術センター

高性能コンピューティング

富士通は、インド・ベンガルールに高性能コンピューティングの技術センター「HPCコンピテンシーセンター」を11月開設する。インドで日系ベンダーがセンターを開設するのは初めて。(10面)

宇部興産、タイに新設備

PCD/年産3000ト

宇部興産は、自動車用人工皮革などに使うポリカーボネートジオールの生産設備をタイに新設する。年産能力3000トの生産設備を新設し、2015年10月に稼働させる。(13面)

亀山電、東南アでプラント保守

タイ・インドネシア/日系向け

亀山電機は、タイとインドネシアでプラント自動化事業の保守体制を構築する。現地企業とパートナー契約を結び、日本企業から受注したプラント設備の保守保全業務を委託する。(25面)

## TELOP

環境配慮の建築技術を支援

新エネ推進協/台湾認定機関(1日14面)

EPA加速、貿易促進を要請

日印ビジネス・フォーラム(2日3面)

起亜自動車、メキシコに新工場

年産30万台(時事=2日5面)

介護ロボ、海外展開

ビップ/第1弾は韓国(2日10面)

日立化成、タイ4子会社統合

粉末冶金など自動車用途(2日11面)

今回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面  
次回は29日(月)に掲載します。

日産、中国でEV発売  
年5万台/シェア20%を目指す

日産自動車は、中国合併会社の東風日産が中国専用ブランド「ヴェーシア」の電気自動車「e30」を発売。価格は約470万円。年5万台を販売、中国EVでシェア20%を目指す。(5面)

太陽誘電、武漢に拠点

スマホ部品/設計段階から提案

太陽誘電は、中国の現地法人を通じて武漢市に販売拠点を新設。販売拠点は11カ所目。技術営業職らを配置、現地のスマホメーカーなどに製品の設計段階から電子部品や関連技術を提供。(10面)

日東電工、青島に研究開発拠点

ナノ材料など/新製品を開発

日東電工は、青島市の青島工業技術研究院内に研究開発拠点を12月に開設する。波長変換材料、光触媒材料、ナノ材料などを研究、農業、エネルギー、環境関連の新製品を開発する計画。(10面)

## TELOP

西鉄、内陸部の鄭州に事務所

自動車関連立地(4日15面)

香港の現法、年内にも営業開始

フロンティアコンサル(5日23面)

伊藤忠、ブラジルで穀物輸出

中国輸にアジア向け(10日20面)

香港・東亜銀行の筆頭株主に

三井住友銀行(10日23面)

帳票のデジタル化、中国で支援

日立システムズ(11日9面)

広州に物流施設開設

郵船ロジスティクス(11日12面)

中国ファンドと合併

野村アセットマネジメント(11日15面)

ペットフード、東南ア展開

兼松/北海道で事業買収(2日12面)

VW工場建設を認可

タイ政府当局(時事=3日5面)

台湾新車販売8.8%増

8月も今年は好調(時事=3日5面)

三菱電機、印にFAセンター

トレーニング・技術相談(3日6面)

住友電設、タイに研修センター

電気・空調工事(3日12面)

印アーメダバードに拠点

みずほ銀行(3日15面)

千葉銀行、バンコクに事務所